



園長先生からのお知らせ ～ その13 ～

令和3年 7月 16日
大阪狭山市立半田幼稚園

梅雨の晴れ間にプール遊びを楽しんでいる子ども達ですが、体調を崩すと入水できませんので、今まで以上に生活リズムを整えて、夏ならではの遊びが十分経験できるように、健康管理をよろしくお願いいたします。夏季保育もプール遊びを満喫させてあげましょう。

～年長(ぞう組)の様子から～

ぞう組は、この3ヶ月半、年長組という意識を持ち様々な活動を進めてきました。中でも、昨年の年長から引き継いだ「マイク当番」は、一人でたくさんの人の前で話す貴重な体験となっています。個人差があって得意な子とちょっと苦手な子がいます。後者の子が前回よりも、声を大きく出そうと頑張っている姿を見ると、心から応援をしたくなります。

「上手く言えるかなあ。」「ドキドキするなあ。」といった感情も大事です。乗り越えた時の喜びが表情に表れています。先生は、何でもやり遂げたことをその都度、しっかり認めてくれています。

また、クラス内の当番活動では、机を拭いたり、配付物を配ったり、先生のお手伝いをしたり、クラスのみみんなのために動くことが、嬉しい様子です。園内の拭き掃除(雑巾がけ)も継続して取り組んでくれています。時には、担任がいなくても自分達で相談をして活動を進めていたり、トラブルが起こった時は、先生を頼らずに自分達で解決したり、どんどん自主的・主体的に行動できるところが増えていきます。この育ちは、私達にとっても大きな喜びです。

このように、自分以外の人のことでも考えて役に立つ喜びや、続けることで要領を得て考えて行動するようになってきました。人との関わりにおいても、周りを見て判断し、年少・年中児や未就園児に対して、あったかい心遣いをたくさん見せてくれた子ども達です。

今後も、年長児のいいところや、やさしい思いやりの気持ちがいろんなところで見られると期待しています。年中児・年少児も優しい年長児が大好きで、憧れを抱いている様子です。

～もうすぐなつやすみ！～

幼稚園生活最後の夏休みがもうすぐやってきます。あれこれと楽しいプランを立てておられることかと思いますが、ちょっとした気の緩みで事故やケガは起こるものです。自分でできることが増え、子どもに任せることも多くある年長児。保護者のみなさんの目も緩みがちになるのではないのでしょうか。特に、不審者や水難事故、熱中症のことは未然に防ぐことができるように心がけていただきたいものです。大人の目に守られながら、たくさんの経験をこの夏休みにできるようにご対応をよろしくお願いいたします。



園長先生からのお知らせ ～ その13 ～



令和3年 7月 16日
大阪狭山市立半田幼稚園

梅雨の晴れ間にプール遊びを楽しんでいる子ども達。けれども、体調を崩すと入水できませんので、今まで以上に生活リズムを整えて、夏ならではの遊びが十分経験できるように、健康管理をよろしく願いいたします。夏季保育もプール遊びを満喫させてあげましょう。

～年中(ぱんだ組)の様子から～

進級して3ヶ月半が経ちました。憧れのぱんだ組さんになってワクワク感いっぱい進級当初でしたが、今では一人一人の個性をキラリと輝かせて、どの子ども園生活を笑顔で楽しんでいます。特に、年少・ひよこ組さんの入園から一つ大きい組に進級した実感が持て「ひよこぐみさんに何かしてあげたい。」「泣いている子がいるどうしたのかなぁ・・・。」と年少児を優しく思う気持ちが行動や言葉に表せるようになってきました。

そして、いろんな遊びや生活の場面では意欲をもって年長さんと同じように頑張ろうとする姿をたくさん見ることができました。その都度タイミング良く先生から認め、励まし、褒められた子ども達。褒められる経験は、意欲や自信になります。

また、自分のことが好きになる、大切に思う感情＝自尊感情が育ちます。先生から、褒められ、認められる嬉しい経験の積み重ねにより、自信につながっているぱんだ組の子ども達、1学期の成長ぶりを心から嬉しく感じています。

年中児は、年長からの刺激を受けて積極的に活動に取り組み、年少児への優しさや少しリードしながら年少児のお兄ちゃん、お姉ちゃんの意識を持つことができます。この1年の経験が年長になると、さらに自発的、主体的になっていくことでしょう。



～もうすぐなつやすみ！～

夏休みがもうすぐやってきます。あれこれと楽しいプランを立てておられることかと思いますが、ちょっとした気の緩みで事故やケガは起こるものです。

自分でできることが増え、子どもに任せることもある年中児。保護者のみなさんの目も緩みがちになるのではないのでしょうか。特に、不審者や水難事故、熱中症のことは未然に防ぐように心がけていただきたいものです。大人の目に守られながら、たくさんの経験をこの夏休みにできるようにご対応をよろしくお願いいたします。

園長先生からのお知らせ ～ その13～



令和3年 7月 16日
大阪狭山市立半田幼稚園

梅雨の晴れ間、プールあそびを楽しんでいる子ども達ですが、体調を崩すと入水できませんので、今まで以上に生活リズムを整えて夏ならではの遊びが十分経験できるように、健康管理をよろしくお願いいたします。また、1学期、ひよこ組は排泄の自立が随分進みました。園とご家庭で協力し合ってトイレでの排泄を成功させられたお子さんが増えたことは、プールあそびにもつながっています。まだ排泄自立ができていないお子さんは、引き続き、根気強く関わっていきたいと思います。

～年少(ひよこ組)の様子から～

入園して3ヶ月半が経ちました。当初は、泣いていた子、保育室から出て行ってしまいう子でしたが、今では随分集団生活に慣れて、一人一人の個性をキラリと輝かせて、園生活を楽しんでいます。

特に、この3ヶ月半で身に付いてきた「自分のことはなるべく自分でする」習慣は、毎日繰り返される身の回りのことを、先生に手伝ってもらいながらも、自分の力でしてみようと、出来たことを先生から認めてもらう、その経験が基になっています。

改めて、褒めること、認めることの教育的効果を感じます。「なかなか我が子を褒められない。」「褒めると凶に乗るので・・・。」と言われる方がおられますが、良い習慣づけは褒めて認めることがベースです。次に、自分から進んで行動に移せたことを少しオーバーに「自分で良く考えてできたね。」とか「言われなくてもできたね。」とうんと褒めてあげてください。褒められる経験は、意欲や自信になります。そして、自分のことが好きになる、大切に思う感情＝自尊感情が育ちます。園では、良い言動はタイミングよく褒めて認めています。周りの子にも広めます。「叱るより褒めよ」の毎日だと、子どもも親もやる気アップ！につながりますよ。身の回りのことだけでなく、生活や遊びなどすべてにおいて「褒め上手ママ」になって頂きたいと思います。

特に、夏休み期間は幼稚園で積み重ねてきたことが崩れないように、自分でやってみようとする力をつけてあげていただきたいと思います。



～もうすぐ、なつやすみ！～

20日で1学期が終わり夏休みに入ります。ひよこ組15人の集団生活の第一歩が保護者の皆様の温かいご支援、ご協力のもと順調に進んできました。

お母さんから離れて不安な様子もありましたが、先生に支えてもらい生活習慣が身に付き、いろんな遊びにもやってみよう！とキラキラした瞳で臨んでいます。

夏休み中でもできるだけ「自分のことは自分でする」習慣づけをよろしく願います。

また、熱中症、不審者や水難事故に遭わないようくれぐれも目を離さないであげてください。